



側条施肥用

水稻用殺虫殺菌剤

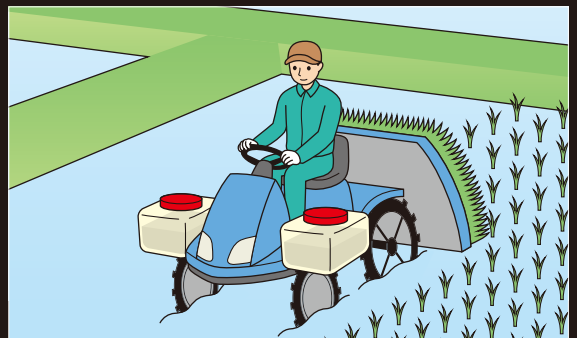
ツインターボ®

顆粒水和剤



おどろきの
100g

小さくて 溶けやすい新製剤!!



ペースト肥料に良く溶けるので防除効果も安定



いもち病



イネドロオウムシ



イネミズゾウムシ

側条施肥用

水稲用殺虫殺菌剤

ツインターボ®

顆粒水和剤

殺虫剤分類	4A
殺菌剤分類	P3

農林水産省登録 第23207号 有効成分：クロチアニジン…15.0% イソチアニル…20.0% 製剤毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指す)という通称)

特長

- 1 いもち病防除に、有効成分「イソチアニル」含有**
イソチアニルは耐性菌発達リスクが低い病害抵抗性誘導剤です。既存の薬剤に耐性を持ったいもち病菌に対しても効果が高く、長い残効性を持っているので、安心して使用できます。
- 2 高活性・長期持続性の「クロチアニジン」で効率的な害虫防除**
イネドロオイムシとイネミズゾウムシに効果を示すクロチアニジンを配合。長期にわたって害虫を防除します。
- 3 コンパクトな製剤と優れた溶解性**
10aあたり100gの使用量で作業の効率化が可能です。ペースト肥料への溶解性に優れ、安定した防除効果を発揮します。

適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用量 または 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数	イソチアニルを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネドロオイムシ	-	100g/10a	移植時	1回	ペースト肥料に 混合し 側条施肥田植機で 施用する	4回以内 (但し、直播では種時又は 移植時までの処理は1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内 (但し、直播では種時 又は移植時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ	※1 100倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ 1箱当り500ml)	移植3日前～ 移植当日		灌注	4回以内 (但し、移植時までの処理は 1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内 (但し、移植時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)

※1：高密度には種する場合は100g/10a<育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り5~10g(希釈倍数50~100倍)

2021年10月27日現在の登録内容

側条施肥混用での上手な使い方



ペースト肥料に対する混用性※

GUパワー	○
エコペースト220	○
コープペースト222P	○
タキペースト10号	○
タキペースト12号	○
ネオ・ペースト1号	○
ニューフレーザーペースト	△
まるやかレッド1号	○

※2倍希釈液混用での分散性検討結果
○：速やかに分散 △：強い攪拌で分散

注意事項

<使用上の注意>

- 本剤をペースト肥料と混合して側条施用する場合は、次の事項に注意してください。
 - ①あらかじめ同重量の水に混ぜ、これをペースト肥料に加えて均一に混合し、側条施肥田植機で本田に施用してください。
 - ②混合したペースト肥料は、その日のうちに使用してください。
 - ③砂質土壌及び漏水の大きな水田での使用はさけてください。
 - ④同一の病害虫を防除対象とする育苗箱施用薬剤とは併用しないでください。
 - ⑤使用した機械を洗浄する際は、洗浄水が水路等に流入しないよう注意してください。
 - ⑥軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいため、代かきは丁寧に、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田では、いぐさを栽培しないでください。
- 本剤を稲(箱育苗)に使用する場合、さく等の他作物に影響を及ぼす場合がありますので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。

- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粕として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、使用量が100g/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を5から10gまでの範囲で調整してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

<安全使用上の注意>

- 眼に対して弱い刺激性があるので目に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した場所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。 ●防除日誌を記載しましょう。

